SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和7年6月20日
事業者名:	岐阜機械商事 株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	機械商社として、金属、樹脂などを加工されているユーザーへ、ユーザーにとっても環境にとっても無駄のない脱炭素・省エネ技術が搭載された工作機械を積極的に提案、販売している。それにより、ユーザーのCO2排出量の削減(スコープ2)と付随する切粉、廃油処理の削減(スコープ3)に寄与することで、社会全体の脱炭素化を支援している。	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑫つくる責任つかう責任	実例①電源回生機能など省エネ技術が搭載された機械への更新でCO2排出量45%削減 (2023年度) 実例②#40マシニングセンタからの更新(ダウンサイズ)で、使用電力を80%削減 (2024年度)	指標	省エネ技術が搭載されていない工作機械の更新率
				目標	2030年までに担当しているユーザーの90%更新を達成する。
社会	モバイルデバイスや、社内コミュニケーションツールの導入、ペーパーレス化で業務改善し、残業時間が短縮することでワークライフバランスの調和を見込んでいる。	③すべての人に健康と福祉を、⑧働きがいも経済成長も	2024年度の月平均残業時間14時間52分	指標	残業時間の削減率
				目標	2030年度までに2024年度比30%削減
経済	営業社員全員へノートPC導入、FAX送受信のデータ化、業務データのクラウド化でDXを進め、業務効率化を推進している。	⑧働きがいも経済成長も、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	2024年度に業務デジタル化システムの導入で、在宅勤務ができるようになり、業務効率化だけでなく、働き方の多様化にも貢献している。	指標	商品の入出荷の自動化率
				目標	2030年までに商品の入出荷作業の80%以上を自動化、省力化する

ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> <ul style="list-style-type: none">・ 部署会議において、脱炭素に向けた商品の知識と販売進捗の共有化を実施。・ 正確な残業時間把握の為、担当者を設け、その管理と残業時間短縮に向けた発信をしている。・ 社内の業務効率化、省力化を進めるために、各部署からメンバーを集め、最適なツールや方法を検討している。
	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 ホームページは現在、更新の打合せ中で、SDGsの取組みをこれから入れていく予定です。 「SDGs行動宣言」を商談室に置き、社外の方の目に触れるようにしています。